

全国共通「量の見込み」の算出方法及び 浦安市「量の見込み」(案)について

平成26年3月5日
浦安市こども部

「量の見込み」の算出にあたって

◆市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き (内閣府)

市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画の作成にあたり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査等(以下、「利用希望把握調査等」という。)を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うことが求められている。

- ・「保護者に対する調査等」とは
平成25年10月実施 浦安市子ども・子育て支援事業計画に関する基礎調査
- ・「量の見込み」算出の基礎データ
主に浦安市就学前児童向け調査票による調査結果を使用
- ・算出に係る条件
 - ①保育の下限時間 = 保育の必要性の認定の対象となる就労時間の下限
【浦安市】 64時間(4時間×4日×4週)以上を使用
 - ②教育・保育提供区域 1区域 (第3回子ども・子育て会議決定)
 - ③推計児童数 本市企画政策課作成 人口推計(H25.9.30)を使用

全国共通で「量の見込み」を算出する項目

	対象事業	対象児童年齢
1	教育標準時間認定（認定こども園および幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、就労時間短家庭＞	3～5歳
2	保育認定①（幼稚園） ＜共働きであるが幼稚園利用のみの家庭＞	3～5歳
	保育認定②（認定こども園及び保育所）	3～5歳
3	保育認定③（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳、1・2歳
4	時間外保育事業（延長保育事業）	0～5歳
5	放課後児童健全育成事業	1～3年生、4～6年生
6	子育て短期支援事業（こどもショートステイ）	0～18歳
7	地域子育て支援拠点事業	0～2歳
8	一時預かり事業 ・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育） ・その他	3～5歳 0～5歳
9	病児・病後児保育事業	0～5歳（1～6年生）
10	子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	0～5歳 1～3年生、4～6年生
11	利用者支援事業	0～5歳（1～6年生）

「量の見込み」の基本的な算出過程 その1

◆算出過程その1 家庭類型別に人数・割合を算出する

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月120時間以上＋下限時間（64時間）～120時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満＋下限時間（64時間）～120時間の一部)
タイプD	専業主婦（夫）
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月120時間以上＋下限時間（64時間）～120時間の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間（64時間）～120時間の一部)
タイプF	無業×無業

「量の見込み」の基本的な算出過程 その1

※前ページの「家庭類型」を図表化したもの

母親		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
父親	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプE'	タイプD
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'	タイプE'	タイプE'	タイプD
	下限時間未満	タイプC'	タイプE'	タイプE'	タイプD
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD	タイプD	タイプD	タイプF

「量の見込み」の基本的な算出過程 その1

◆以下の2種類の家庭類型を集計、割合を算出する。

- ①現在の就労状況から分類される**現在の家庭類型**に分類
- ②調査票の就労意向から分類される**潜在の家庭類型**に分類

【浦安市】0歳～5歳の①現在の家庭類型と②潜在の家庭類型の実数と割合を表にしたもの

①

②

■0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	25	4.7%	25	4.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	180	33.8%	190	35.6%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	34	6.4%	33	6.2%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	40	7.5%	58	10.9%
タイプD 専業主婦(夫)	252	47.3%	225	42.2%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF 無業×無業	2	0.4%	2	0.4%
全体	533	100.0%	533	100.0%

「量の見込み」の基本的な算出過程 その2

◆その2 量の見込み(ニーズ量)を算出する

①家庭類型別児童数(潜在)を算出する。

$$\text{平成〇年度 0歳の推計児童数} \times \text{潜在家庭類型(割合)} = \text{家庭類型別児童数(潜在)}$$

②①の家庭類型別児童数(潜在)に調査票から算出した利用意向率を掛ける。

$$\text{家庭類型別児童数(潜在)} \times \text{利用意向率} = \text{量の見込み(ニーズ量)}$$

例)0歳の保育所や保育ママ等の量の見込みの算出

■0歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家族類型(割合)		c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	1,384	×	5.1%	=	71
タイプB フルタイム×フルタイム		×	39.7%	=	550
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	1.3%	=	18
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.0%	=	0

①

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数		d:利用意向率(割合)		e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	71	×	75.0%	=	53
タイプB フルタイム×フルタイム	550	×	93.5%	=	514
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	18	×	100.0%	=	18
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	×	0.0%	=	0

②

「量の見込み」の基本的な算出過程 その2

これまでの過程により算出した「量の見込み」(ニーズ量)の需要率は以下のとおりとなる。

例)0歳の推計児童数に占める保育所や家庭的保育(保育ママ)などのニーズ量の割合(需要率)

■0歳家庭のみ

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	推計児童数	ニーズ量	
	人	人	
タイプA ひとり親	1,384	53	⇒ 充足率 42.3%
タイプB フルタイム×フルタイム		514	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		18	
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	
全体	1,384	585	

⇒以降、各項目・各年度ごとに量の見込み(ニーズ量)を算出する。

浦安市の「量の見込み」(案)

※浦安市の「量の見込み」については、数値を再度見直し、子ども・子育て会議で議論を行った後に公開します。